

## 23 子供たちに「なっしてほしい大人の姿」を伝えたい

### 【き】 五色町最後の活性化委員会を立ち上げ

五色町には5つの地区がありますが、鮎原だけ、住民たちが自主的に地域の活性化に取り組む委員会がありませんでした。そこで、平成15年9月に地区に15ある町内会の連合会長が声をかけ、鮎原地区活性化委員会-みらいっく「ウメバチ」を立ち上げました。

同委員会の中には3つの委員会があります。マップ委員会、拠点づくり委員会、そして菅原塾開校委員会です。



子どもたちの記念写真

### 【概】 地域の歴史を学び、大人の思いを知る

平成16年8月21日～22日に、菅原道真公ゆかりの河上神社で、学校では勉強できない地域の歴史や昔遊びなどを教える塾を開校しました。16人の子どもたちが参加してくれました。

子供たちのために何かをしたい、という思いで集まった開校委員会のメンバーが、手探り状態でプログラムを考えました。特に、活性化委員会の全委員にアンケートを取り、「なっしてほしい大人の姿」のメッセージカードを贈ったのは、良い試みだったと思っています。

### 【成】 子供たちに喜んでもらえただけでなく、地域の課題も見つかりました

後日、参加した子どもとその親に、アンケートに答えてもらいました。ほとんどの親子から回答をいただきました。「塾をきっかけに、親子の会話が増えた」「子供たちは来年も参加したがる」「これからも、子どもたちに地域のことや自然のことを教えてほしい」という声が多かったです。

また、子どもたちに地域のどこが好きか、嫌いか、またどうなっしてほしいかということを塾の中で聞いたのですが、その中で、たとえばゴミ問題など、大人たちが取り組むべき課題がはっきりしたのは大きな成果です。

### 【夢】 いつか、自立できるしくみをつくりたい

たとえば、鮎原にいるリタイアした教師にボランティアで家庭教師をやってもらい、勉強が遅れている子に安価で勉強を教え、その受講料を活動に充てる。そういう自立的な、財源を確保できるしくみを、いつかつくりたいと思っています。

#### 菅原塾開校委員会

代表者氏名：富沢茂  
活動地域：津名郡五色町鮎原地域  
電話番号：0799-30-2039

とも  
に取  
り  
組  
んだ  
団  
体  
等

#### 淡路聴力障害者協会

町の教育委員会に紹介していただき、子どもたちに手話を教えてもらいました。



## 行政の中によき理解者を見つける

鮎原小学校の4～6年生を対象に考えていたので、学校から案内をしてほしいと校長先生をお願いに行きました。ところが、学校と直接関係ない行事を学校から案内するのは難しいというお話でした。

次は町の教育委員会の社会教育課に相談しました。そこで課長がこれはいい企画だということで、教育長を紹介してくださいました。教育長から校長に話を通してもらうことで、学校の協力を得られ、正式に生徒たちに案内していただきました。

このように、あきらめずに行政の中によき理解者を探し出すことが重要です。

また、教育委員会には、五色町で教育委員をされていて、鮎原地区の歴史に詳しい方など、塾で講師をお願いできそうな方を紹介していただきました。他にも、淡路聴力障害者協会など、教育委員会を通じて多くの人や団体とつながりを持ってました。



## 資金は町内会ごとに分担して集めました

資金は、まず15の町内会にそれぞれ1万円ずつ拠出してもらいました。

それから、地域内の協賛企業から2千円ずつ寄付していただきました。これについては、それぞれの町内会に、地域の企業にしっかり説明してもらい、責任を持って集めてもらいました。

### 読者の皆さんへのメッセージ

地域での活動を長続きさせる秘けつは、子供たちが喜ぶような活動をすること、そして、活動する側が、子供たちの世話をする喜びを感じるのだと思います。



活動風景